

令和6年度 4歳児 「野菜の栽培」実践後

(実践前修正箇所を斜体、実践後修正箇所を囲み文字にて示す。)

1. 期間 4月～9月及び9月～3月

2. 設定の理由

3歳では担任が育てている野菜を子ども達は折に触れて見ている。そして、野菜が育っていく様子を見て驚いたり喜んだりしてきている。なかには担任が野菜の世話をしている様子を見たり、一緒に水やりをしたりした子どももいる。そして、収穫ができる時期になると、収穫した野菜をもらって帰り、身近な場所で育った野菜を食べることを楽しむ経験をしてきている。また、年間を通して色々な野菜を4歳児と5歳児が自分達で育てている姿を目にしている。

このような経験をしているため、4歳になると学年に大きな畑があり、そこで自分達で野菜を栽培し、収穫するという経験をすることに期待を感じている。野菜の食べる部分についてはどのような形、色をしているのか分かっていても、収穫までにどのような過程を経ているのかについては知らない子ども達も多い。

また、3歳児の時に比べて友達と関わりが増え、一緒に遊ぶ楽しさや、協力して物事を進める充実感も感じられるようになってきている。

そこで、4歳児では選択肢の中から育てたい野菜を選び、グループで栽培活動に取り組んでいく。クラスや学年の友達と同じ野菜を育てることで、仲間意識をもつようになる。野菜を育てるなかで、どんな世話が必要か考えたり、教師や保護者に教えてもらったりして、やってみようとする子どももいる。野菜の世話をする姿や、生長への気付きをクラスや学年で共有することで、他の友達や、他の野菜にも興味・関心をもつようになる。

このように、野菜の栽培を通して、4歳児においては、生き物の生長に関心をもったり、友達と一緒に力を合わせたり、共に喜びを味わったりすることを経験してほしいと考える。

野菜を選ぶ際に大切にしたいこと

- ・年少時に教師と栽培したり栽培しているのを見たりした野菜で、自分達で栽培を進めやすいもの
- ・たくさんの実がなり、全員持ち帰ることができ、分ける経験ができるもの
- ・季節による変化を感じられる（収穫後に花が咲く）もの
- ・苗植え、種植えどちらも経験できるもの
- ・野菜のなり方が異なるもの（根菜、葉野菜、果実など）

R6年度

夏：ミニトマト、ピーマン、ナス、**キュウリ、オクラ、ジャガイモ**（全て苗、**キュウリ、オクラ、ジャガイモは学年で育てる**）

冬：ブロッコリー、ダイコン、ニンジン、ホウレンソウ（全て種）

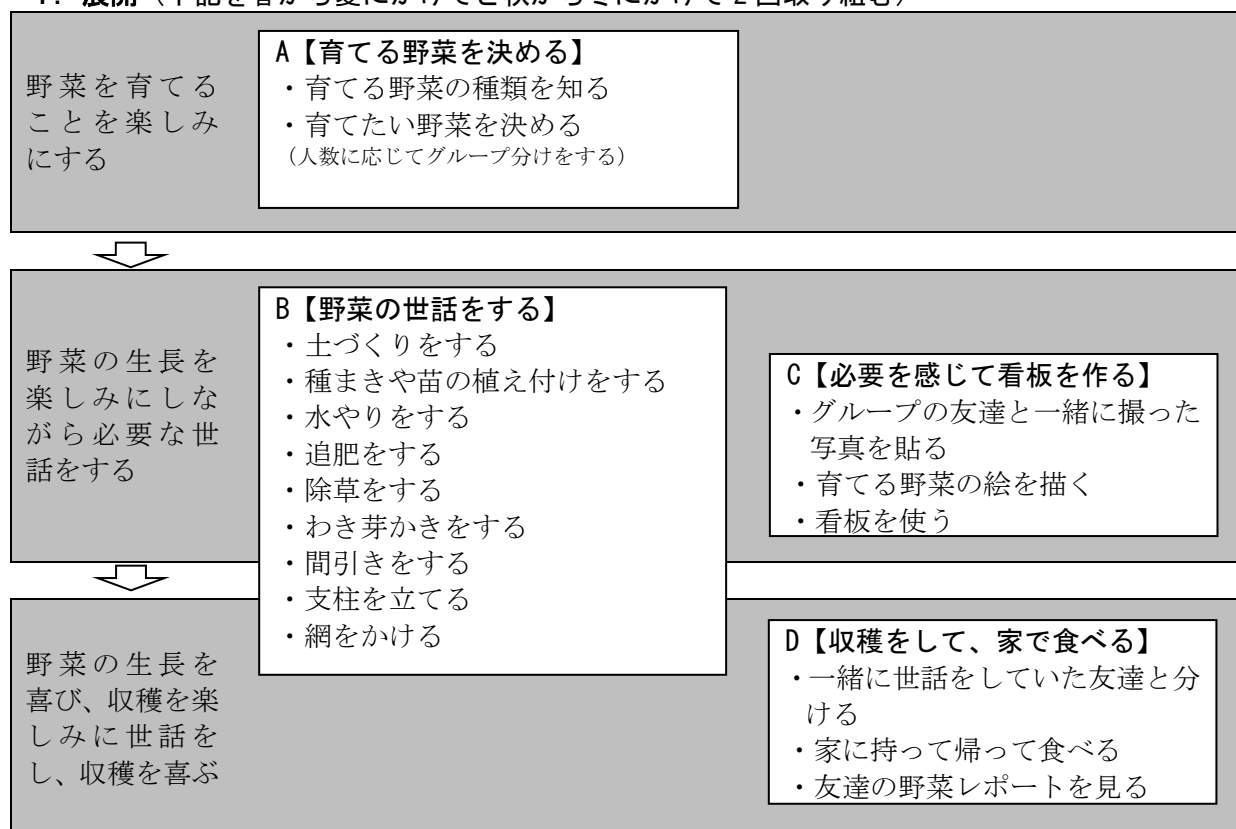
3. ねらい

- | | |
|---|-------------|
| ① 自分の育てたい野菜を自分で選び、期待と愛着をもって世話をしようとする | 自ら決める・選ぶ |
| ② 自分達で世話をしたことで野菜が生長し、収穫できることを嬉しく思う | 自分に満足する |
| ③ 友達と一緒に野菜の世話をしたり、変化を伝え合ったり、収穫したりすることを楽しむ | 他者という喜びを感じる |
| ④ 美味しい野菜を皆で育てるために 、同じ野菜を育てる友達と声を掛け合ったり世話をしたり、みんなで納得して持ち帰れるように相談して誰が持ち帰るか決めたりしようとする | 人と物事を進める |
| ⑤ 野菜の生長を楽しみにしながら苗や種を植えたり、野菜の生長に関心を持ち、変化に気付いたり大切に世話をしようとしたりする | 生き物・命を見つめる |
| ⑥ 野菜によって花、葉の形や表面、匂い、なり方などの違い、間引きや脇芽 | 事物・現象を捉える |

摘など様々な世話の仕方に気付いたり知ったりして、驚いたり不思議に思ったり**その方法**で世話をしようとしたりする。

- ⑦ こんな野菜に育てたいという思いを絵で表現しようとする 造形に表す
- ⑧ **収穫した野菜の数や大きさを感じたり、グループの人数で収穫した野菜をどうやって分けるか考えたりしようとする。** 数・量を捉える
- ⑨ 食べることを楽しみにして野菜を育て、収穫した野菜を家庭で食べて喜んだり、友達がどのようにして食べたかを知って**食べ方に興味をもったりする。** 食を見つめる
- ⑩ 育てている野菜やメンバーが分かるようにしたいと思って看板を作ろうとしたり、看板を置くことでの過ごしやすさを感じたりする 場や状況を整える
- ⑪ **伸びている茎や花梗が手入れしやすかったり成長の様子が見えやすかったりするように支柱を立てたりする。** 場や状況を整える

4. 展開（下記を春から夏にかけてと秋から冬にかけて2回取り組む）



A【育てる野菜を決める】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・育てる野菜の種類を知る ・育てたい野菜を決める	○野菜を育てることを楽しみにする① ○自分の育てたい野菜を自分で決める①	◎昨年、年少で先生と育てていた野菜の話をしたり、年中では大きな畑があり、自分達で世話をしたりすることを伝えたりする。 *育てる野菜のイメージをもてるように、野菜の図鑑や写真や、料理の写真などを用意しておく。 ◎栽培する野菜を自分で決められるように、考える時間を充分に取り、保護者にも自分が育てたい野菜を決められるように保護者が方向付けないことを依頼し、友達と同じにすることのないように個別に育てたい野菜の聞き取りをする。

	○同じ野菜を育てる仲間がいることを喜ぶ ③	◎同じ野菜を選んだ人数が多い場合は、仲間と協力して世話をしやすいように、4～5人ずつのグループに分ける。 *同じ野菜を育てる仲間がいることを喜び、その友達と一緒に野菜に必要な世話をしようと思えるように、誰がどの野菜を育てるか写真を使って掲示する。
--	--------------------------	--

B【野菜の世話をする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・土づくりをする ・種まきや苗の植え付けをする ・水やりをする ・肥料をやる ・除草をする ・間引きやわき芽摘みなどをする ・支柱を立てる ・網をかける	○期待をもって世話をしようとする① ○同じ野菜を育てる友達と力を合わせて世話をする充実感を感じる④ ○野菜の苗や種の生長を楽しみにしながら植えようとする⑤ ○野菜によって種や苗の形が違ったり植え方を知って不思議に思ったり植えようとする。⑥ ○野菜の生長に関心をもち、変化に気付いたり大切に世話を続けようとしたりする⑤ ○野菜によって花、葉の形や表面、匂い、なり方などの違い、間引きや脇芽摘みなど様々な世話の仕方に気付いたり知ったりして、	*野菜の育て方が分かって世話をしたいと思えるように、育て方を調べられる図鑑をいつでも手に取れる場所に置く。 *必要な世話を思い出してしようとするように、ジョウロや雑草を入れるバケツなどをいつでも目に入るところに用意しておく。 ◎野菜を育てることを楽しみにできるように、保護者の方の協力を得ながら土作りを一緒にしたり、育ったらどんな料理をして食べたいか話したりする。 ◎仲間と一緒に育てるよさを感じられるように、同じ野菜を育てるグループの友達を誘って世話をしよう声をかけたり、虫や他の生き物に食べられたり荒らされたりした時にどうすればいいか考えを出し合ったり一緒に対策をしたりする機会を作ったりする。 ◎グループの仲間意識を感じられるように、同じ野菜の仲間を看板を見ながら確かめたり、「○○仲間」などと呼んだりする。 ◎生長していくことを楽しみにしながらそれぞれの野菜の苗や種を丁寧に植えられるように、野菜の苗の茎は柔らかくて簡単に折れてしまうため、優しく扱うことを薦めたり、生長が楽しみであることを言葉にしたりする。 ◎野菜による種や苗の違い、植え方を知って不思議に思ったり、大きく育っていくように図鑑や以前に育てた方法を思い出して知った植え方で植えてみようと思ったりするように、野菜の種や苗を見せ合ったり、よく見える容器に入れておいたり、植え方を一緒に調べたりする *野菜の生長や変化を感じて嬉しく思ったり大切に世話を続けていこうと思ったりするように、野菜の様子や世話をしている様子の写真や子どもの気付きを、目につきやすいところに掲示する。 ◎生長していく様子に関心をもち、生長を楽しみに世話を続けられるように、一緒に野菜に近付いて見たり、子どもの気付きに驚いたり、野菜の変化を知らせたりする。 *野菜の特徴や育ち方の違い、変化に気付けるように、育てている全ての野菜の様子を写真で近くに掲

	驚いたり不思議に思ったり<u>図鑑や以前に育てた方法を思い出して</u>知った方法で世話をしようとしたりする。⑥ ○生長するにつれて伸びた茎や花梗を取ったり支柱を立てたりする⑪ ○自分たちで世話をすることで野菜が生長し、嬉しく思う② ○友達と一緒に世話をしたり、野菜の変化を伝え合ったりすることを楽しむ③ ○収穫した野菜の数や大きさを感じたり、グループの人数で収穫した野菜をどうやって分けるか考えたりしようとする⑧	示しておく。 ◎それぞれの野菜の特徴に気付けるように、教師も一緒に野菜に近付いてよく見たり、匂ってみたり、触ってみたり、子どもが感じた気付きに驚いたり、子どもの気付きを周りの子どもたちにも共有したりする。 ◎野菜の世話の仕方を知ったり<u>図鑑や以前に育てた方法を思い出して</u>知った方法で世話をしようとしたりするよう、図鑑に育て方が載っていることを知らせて見てみることを勧めたり、虫に食べられている様子やなかなか大きくならない野菜の状況に気付かせたり、支柱や網、肥料などが幼稚園にあることを知らせたりする。 ◎手入れがしやすかったり、成長がよく見えたりするように、伸びた茎で野菜が隠れて見えにくいことを言葉にしたり、生長した茎が増えてきて手入れがしにくいことに気付かせたりする。 ◎世話をすることで野菜が生長する喜びを感じられるように、世話をしている姿が野菜の生長にとってどうよいかを言葉にしたり、世話をしたことによってどう変化したかを尋ねたりする。 ◎世話をしてよかったと思えるように、世話を続けてきたことと野菜の生長を結び付けて褒めたり、野菜の生長と一緒に喜んだりする。 ◎野菜の変化や生長を友達と感じて一緒に喜んだり話したりすることを楽しめるように変化を見つけた子どもに他の友達に知らせるように促したり、教師も一緒に世話をしながら野菜について一緒に話したりする。 ◎野菜の大きさや数に関心をもったり、グループの人数と野菜の数を比べてどうやって分けようか考えたりしようとするように、何個収穫できたのか何人のグループなのか尋ねたり一緒に数えたり考えたり野菜を並べてその大きさの違いや量の違いに驚いたりする。
--	---	--

※野菜の変化とは、芽が出る、茎が伸びる、葉が増える、茎が伸びる、花が咲く、実がなる、実が大きくなる、実が色付くなど
 ※野菜に必要な世話とは、支柱立て、わき芽かき、間引き、追肥、など

C【必要を感じて看板を作る】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・グループの友達と一緒に撮った写真を貼る ・育てる野菜の絵を描く ・でき上がった看板を見る	○育てている野菜やメンバーが分かるようにしたいと思って看板を作ろうとする⑧ ○こんな野菜を育てたいという思いを野菜の絵で表現しようとする⑥	◎必要を感じて看板を作ろうと思えるように、自分の育てている野菜の位置や同じ野菜の仲間が分からないでいる際に、その不便さを言葉にして共感したり、どうすれば分かりやすくなるか尋ねたりする。 *育てている野菜のイメージをもてるように写真や図鑑を用意しておく。 ◎育てたい野菜を思い描けるように、大きさや形、色、味など育てたい野菜の要素を投げかける。

	○看板を使って看板を置くことでの過ごしやすさを感じる⑧	◎看板を置くことでの過ごしやすさを感じられるように、看板があることで育てている野菜の場所や同じ野菜を育てている仲間、友達が何を育てているかが分かり、作って置いてよかったことを言葉にして思いに共感する。
--	-----------------------------	--

D【収穫をして、家で食べる】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
- 一緒に世話をしていた友達と分け合う - 家に持って帰って食べる	○仲間と一緒に野菜を収穫することを楽しむ③ ○みんなで納得して持ち帰れるように相談して決めようとする④ ○収穫した季節の野菜を食べることを楽しむ⑦ ○野菜レポートを見て友達がどのように野菜を食べたのか知り、いろんな食べ物や食べ方があることに興味をもつ⑧	◎野菜を育てた仲間と一緒に楽しんで収穫できるように、同じ野菜を育てている仲間が集まって呼びかける姿を見守ったり、いつ収穫するか尋ねたりする。 ◎みんなが納得して、いつ誰が持ち帰るか決められるように、子どもたちの相談する様子を見守り、必要に応じて考えを整理したり、提案したりする。 ◎収穫した野菜を喜んで食べられるように、家庭に協力を求めて子どもが好きなメニューにしてもらったり、子どもが喜んで食べたメニューを紹介してもらったりする ◎収穫した野菜の色々な食べ方に興味をもてるように、どんな風に調理をしたのか興味をもつ姿を見せたり、家庭に協力を求めてお野菜レポートを提出してもらい、掲示したり、手に取りやすいところに置いておいたりする。